

イーストスプリング
米国高利回り社債オープン

追加型投信／海外／債券

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として米国の高利回り社債に実質的に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。当作成対象期間につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜われますよう、お願い申し上げます。

作成対象期間 2026年 1 月14日～2026年 7 月10日

第276期 2026年 2 月10日決算 第279期 2026年 5 月11日決算
第277期 2026年 3 月10日決算 第280期 2026年 6 月10日決算
第278期 2026年 4 月10日決算 第281期 2026年 7 月10日決算

日経新聞掲載名：米高利回

第281期末 (2026年 7 月10日)	
基準価額	9,354円
純資産総額	18,750百万円
第276期～第281期	
騰落率	3.5%
分配金(税込み)合計	120円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング
<https://www.eastspring.co.jp/>

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

(受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで)

当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順で閲覧、ダウンロードすることができます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

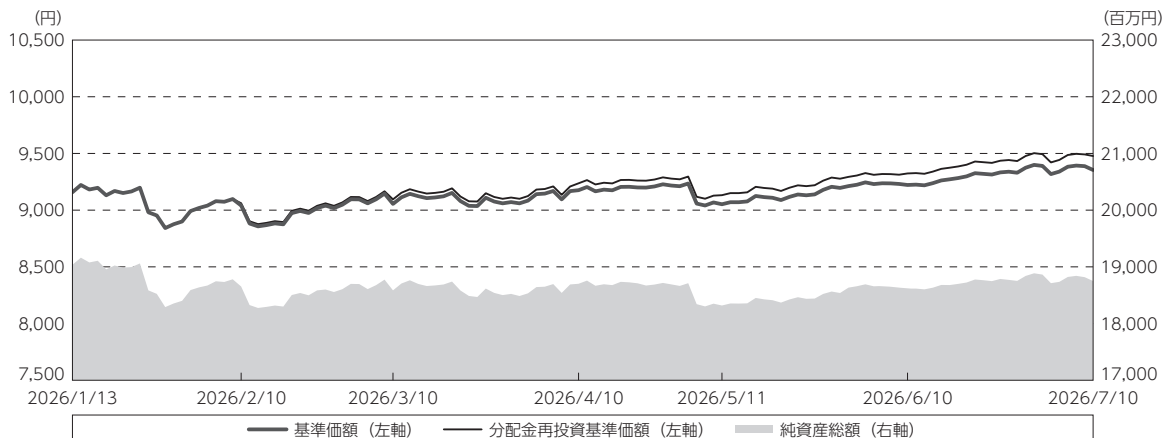
<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒ファンド名を選択⇒「目論見書・月報・運用報告書等」の「運用報告書(全体版)」を選択

運用経過

基準価額等の推移について

(2026年1月14日～2026年7月10日)



第276期首：9,158円

第281期末：9,354円 (既払分配金 (税込み) : 120円)

騰 落 率： 3.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首 (2026年1月13日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は上昇しました。

(上昇要因)

・米ドルが対円で上昇したこと。

1 万口当たりの費用明細

(2026年1月14日～2026年7月10日)

項 目	第276期～第281期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	81	0.885	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(42)	(0.456)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(34)	(0.376)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.021	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	83	0.906	
作成期間の平均基準価額は、9,132円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

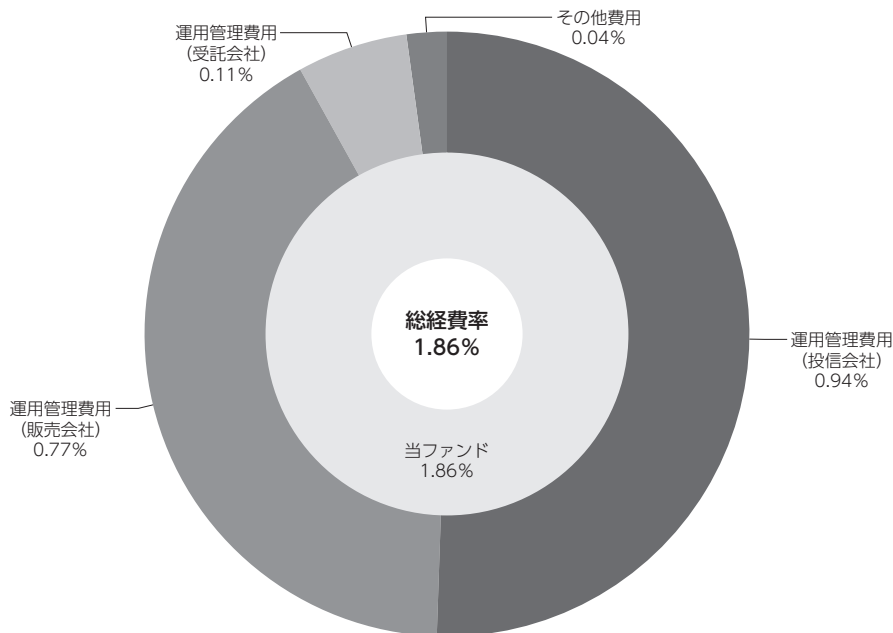
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(参考情報)

○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



(注) 各費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

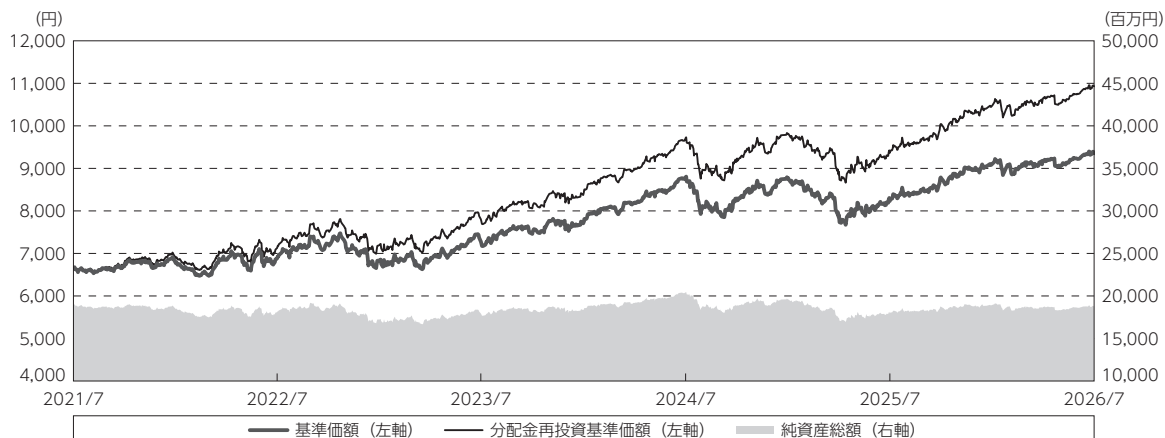
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について

(2021年7月12日～2026年7月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2021年7月12日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2021年7月12日 決算日	2022年7月11日 決算日	2023年7月10日 決算日	2024年7月10日 決算日	2025年7月10日 決算日	2026年7月10日 決算日
基準価額 (円)	6,646	6,880	7,281	8,791	8,235	9,354
期間分配金合計(税込み) (円)	—	240	240	240	240	240
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	7.3	9.5	24.4	△ 3.6	16.7
純資産総額 (百万円)	18,935	18,091	17,939	20,419	17,959	18,750

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

投資環境について

米国高利回り社債市場

当作成期は社債利回りが上昇（価格は下落）しました。米国債利回りは当作成期初から2026年2月末にかけて、米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待から利回りは低下しました。その後は、中東情勢の緊迫化に伴うインフレ懸念の再燃に加え、米国の財政赤字拡大への警戒感などから上昇基調に転じました。当作成期末にかけては、FRBによる追加利上げ観測の高まりを背景に利回りの上昇圧力が継続し、米国債利回りは当作成期初を上回る水準で期末を迎えました。一方、社債スプレッドは、3月末にかけて拡大した後、縮小に転じ、当作成期を通してみると縮小しました。

為替市場

米ドル円相場は、円安ドル高となりました。

当作成期初には、日銀の追加利上げ観測の高まりや米国景気の減速懸念を背景に、円高が先行しました。その後、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格の上昇やインフレ再燃懸念の高まりを受けて、市場で織り込まれていたFRBによる利下げ期待が後退し、ドルは対主要通貨で上昇しました。日銀は2026年6月に利上げを実施したものの、その後の追加利上げ観測の高まりは限定的となりました。一方、ウォーシュFRB議長がタカ派的な姿勢を示したことで日米金利差は拡大し、当作成期を通してみると、円安ドル高となりました。

ポートフォリオについて

当ファンド

当ファンドは、イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資しました。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上がり益の獲得を目指しました。クレジット・アナリスト・チームによる徹底した個別銘柄の調査・分析とバリュエーションを重視し、業種や個別銘柄の分散に配慮した銘柄選択およびポートフォリオ構築を行いました。当作成期は、通信インフラ企業やクルーズ船運営企業、放射線診断に強みを持つ医療サービス企業などの保有がプラス要因となった一方で、通信サービス企業や金融サービス企業などの保有がマイナス要因となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドにおいては、運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第276期	第277期	第278期	第279期	第280期	第281期
	2026年1月14日～ 2026年2月10日	2026年2月11日～ 2026年3月10日	2026年3月11日～ 2026年4月10日	2026年4月11日～ 2026年5月11日	2026年5月12日～ 2026年6月10日	2026年6月11日～ 2026年7月10日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
(対基準価額比率)	0.221%	0.220%	0.217%	0.220%	0.216%	0.213%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,750	1,762	1,788	1,805	1,833	1,935

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) —印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

当ファンド

引き続きイーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を組み入れることにより、信託財産の成長を図ることを目指します。

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

マクロ経済指標では、労働市場の状況にはばらつきが見られるものの、実質国内総生産（GDP）成長率や個人消費は堅調であり、全体としては概ね良好な状況にあります。高利回り社債市場は、信用格付の改善および長期平均を下回るデフォルト率などを背景に、ファンダメンタルズは引き続き堅調です。今後は、企業の合併・買収（M & A）が活発化する可能性があり、高利回り社債発行企業に恩恵をもたらすと考えられます。一方、AI導入に伴う一部セクターに対する市場のネガティブな反応や、プライベートクレジットに対する懸念、中東情勢の緊張などを理由に市場参加者が企業のファンダメンタルズから乖離してリスク資産回避姿勢を取る環境下では、そのミスマプライスを投資機会と捉えています。引き続き市場環境を注視し、企業のクレジット分析を徹底して行ってまいります。

お知らせ

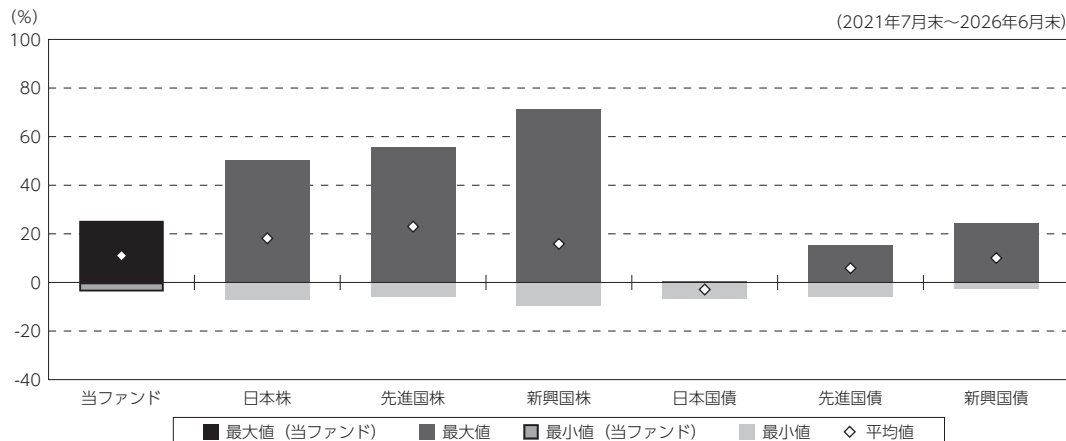
2026年4月1日付で一般社団法人日本投資顧問業協会と一般社団法人投資信託協会が統合し、「一般社団法人資産運用業協会」となりましたので、投資信託約款に所要の変更を行いました。

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	無期限（2003年1月30日設定）	
運 用 方 針	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の高利回り社債に投資することにより、高い金利収入の確保とともに証券の値上り益を追求し信託財産の成長を図ることを目指した運用を行います。	
主要投資対象	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	米国の高利回り社債を主要投資対象とします。
運 用 方 法	イーストスプリング 米国高利回り社債オープン	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	イーストスプリング 米 国 高 利 回 り 社 債 オープンマザーファンド	以下の投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分 配 方 針	毎決算時（毎月10日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子・配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配の対象とし、分配金額は基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象金額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。	

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.4	50.5	55.7	71.2	0.6	15.4	24.5
最小値	△ 3.7	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 6.9	△ 6.1	△ 2.7
平均値	11.0	18.2	23.0	15.9	△ 2.9	5.9	10.0

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2021年7月から2026年6月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：配当込みTOPIX

先進国株：MSCI－KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA－BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

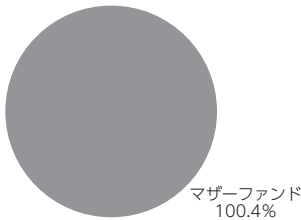
○組入上位ファンド

銘柄名	第281期末
イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド	% 100.4
組入銘柄数	1銘柄

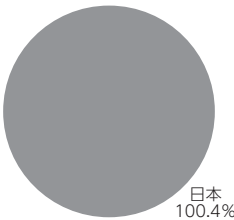
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

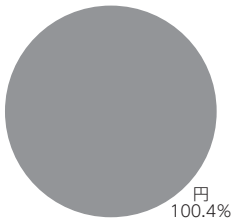
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分につきましては発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

純資産等

項 目	第276期末	第277期末	第278期末	第279期末	第280期末	第281期末
	2026年 2月10日	2026年 3月10日	2026年 4月10日	2026年 5月11日	2026年 6月10日	2026年 7月10日
純 資 産 総 額	18,653,259,441円	18,585,185,746円	18,701,563,915円	18,318,267,959円	18,617,436,371円	18,750,046,493円
受 益 権 総 口 数	20,632,592,627口	20,524,259,651口	20,381,575,907口	20,236,083,599口	20,188,675,634口	20,044,851,162口
1万口当たり基準価額	9,041円	9,055円	9,176円	9,052円	9,222円	9,354円

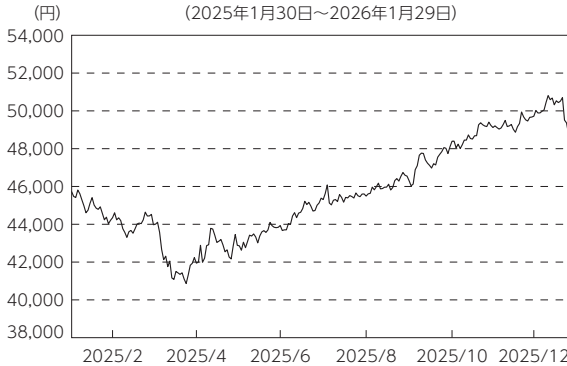
(注) 当作成期間（第276期～第281期）中における追加設定元本額は108,661,273円、同解約元本額は850,515,654円です。

組入上位ファンドの概要

イーストスプリング米国高利回り社債オープン マザーファンド

【基準価額の推移】

(2025年1月30日～2026年1月29日)



【1万口当たりの費用明細】

(2025年1月30日～2026年1月29日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用	13	0.029
(保 管 費 用)	(13)	(0.029)
(そ の 他 1)	(0)	(0.000)
合 計	13	0.029
期中の平均基準価額は、45,640円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位 10 銘柄】

(2026年1月29日現在)

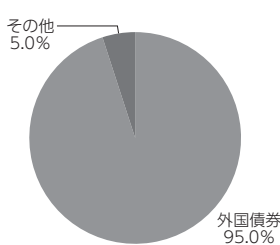
	銘 柄 名	業 種 / 種 別 等	通 貨	国 (地 域)	比率
					%
1	カーニバル 4% 2028/8/1	社債	米ドル	パナマ	1.5
2	CCOホールディングス／キャピタル 5.375% 2029/6/1	社債	米ドル	アメリカ	1.3
3	シトゴ・ペトロリアム 8.375% 2029/1/15	社債	米ドル	アメリカ	1.0
4	テネット・ヘルスヘア 4.25% 2029/6/1	社債	米ドル	アメリカ	0.9
5	マーブ・ボンド 3.95% 2031/1/29	社債	米ドル	イギリス	0.9
6	ベンチャー・グローバルLNG 9.5% 2029/2/1	社債	米ドル	アメリカ	0.9
7	クレジット・アクセプタンス 6.625% 2030/3/15	社債	米ドル	アメリカ	0.8
8	ブライスター・ロッターリー 5.25% 2029/1/15	社債	米ドル	イギリス	0.8
9	カーニバル 5.75% 2032/8/1	社債	米ドル	パナマ	0.8
10	スマーナ・レディ・ミックス・コンクリート 8.875% 2031/11/15	社債	米ドル	アメリカ	0.8
組入銘柄数			298銘柄		

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

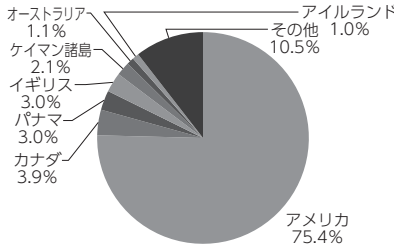
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

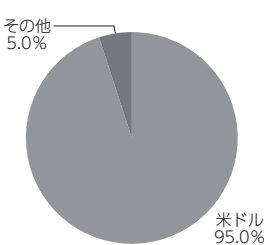
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○配当込みTOPIX

配当込みTOPIXは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、配当込みTOPIXの指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社の知的財産です。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。